

公益財団法人日本郵趣協会

2024年度事業報告（2024年4月1日～2025年3月31日）

【事業活動の総括】

当協会は定款に則り、郵趣を通して郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承し、心豊かな潤いのある社会創造に寄与することを目的として活動を行った。この目的を達成するため、2024年度も、前年度同様に「郵趣の深耕」、「郵趣のダイバーシティ拡大」、「郵趣のバリアフリー化」を基本方針に掲げた。特に2024年度は、郵趣を楽しむ仲間を増やす目的で「郵趣のダイバーシティ拡大」に力を入れると同時に、どこでもだれでも郵趣を楽しめる環境を作るための「郵趣のバリアフリー化」に力を入れた。また、持続的な郵趣活動を実現するために、財政健全化に向けた検討を開始した。

「郵趣のダイバーシティ拡大」については、世界切手まつりSTAMP-SHOW2024などで活動を行なった。STAMP-SHOWでは、企画展示として「パリ五輪2024『100年前のパリ』」「宝塚110周年展」などを開催した。前者は、社会的に関心の高いパリ五輪を謳うことで一般に向けて郵趣の理解拡大を目指すとともに、100年前のパリに関する様々な作品を展示することで、郵趣家に対しては多様な郵趣の楽しさを提示した。後者は、オンラインは使わず手紙のみでファンとの交流を行うという宝塚歌劇団にフィーチャーすることで、手紙文化振興を図るとともに、ファンレターで手紙を身近に感じている宝塚ファンの方に郵趣の世界を知っていただくことを目指した。結果として、前年来場者の4割増という多くの方にご来場いただき、多様な郵趣を楽しんでいただいた。

「郵趣のバリアフリー化」については、全国郵趣大会の位置付けを地方で郵趣を楽しむ機会を増やすためのイベントとし、作品展示、講演会、郵趣品ブース出展を中心としたものとする方針を掲げ、富山で開催した全国郵趣大会で試行した。この方針は、地方でも東京開催のSTAMP-SHOWのようなイベントを楽しみたいという会員の要望を実現すべく、地方本部長とともに検討したものである。もちろん、個別事情があり、開催形態は地方により異なることになるが、2024年度に開催した全国郵趣大会をひとつのモデルケースとして、今後の全国郵趣大会に反映させていきたい。これにより、地方でも、作品を楽しむ、講演を楽しむ、郵趣品を楽しむことが身近になるようすることで、「郵趣のバリアフリー化」を推進する。

今後もこれらの事業を継続するためには健全な財政状況での経営が必須であるが、当協会の財政状況は、会員数の減少など理由に徐々に悪化してきた。最近5年程度の財政状況を分析すると、2018年以降は欠損額を生じる可能性があったことがわかった。しかしそのようにならなかったのは、コロナ禍による事業の縮小や自粛、大型寄付によるものと分析できる。これに対し、コロナ禍が終わり通常状況に戻った2024年度は3,800万円の欠損額を生じる予算を組まざるを得なかった。このような状況下、当協会一丸となり経費削減を行い、最終的にはその50%を解消し収支均衡を目指した。

一方で、今後もこのような状況が続くと、事業を縮小や中止をしなくてはならなくなるため、理事会では継続して経費削減を図るほか、新規取り組みにより3年で財政を健全化する「財政健全化3カ年計画」の概要を策定し、次年度から、この具体化と実行を行なうこととした。これに向けて、2025年度からは、理事会は事業・財務計画、および財務健全化に注力し、事業の執行は委員会が行うものとする。そのため、2025年度から、理事会と委員会の役割を従来以上に明確化し、両者で組織運営を行う体制とする。また委員会を、個別事業に責任を持つ事業別委員会と、基盤事業に責任を持つ共通基盤委員会に分け、効率的な事業執行を行う。さらに、経費削減と新規取り組みを実現するために、共通基盤事業委員会としてIT化推進委員会と臨時局管理委員会を、事業別委員会として文具&手紙マルシェ委員会を新設する。また、限られた人的リソースで運営を行うため、従来の4つの委員会を2つに統合し、普及・流通委員会、審査・国際委員会とする。

I 公益目的事業

1. 普及啓発事業

万国郵便連合(UPU)加盟約190の国・地域から発行されている郵便切手類が持つ歴史、美しさ、芸術性といった文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、楽しみながら知ることのできる機会を創出した。また、郵便切手文化を次世代に継承するため、質の高い情報を積極的に提供するとともに幅広い分野で普及啓発活動や情報発信を実施した。

(1) 「全国ミニ切手展」キャンペーン

年間を通じて全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、日本及び世界各国の郵便切手類を展示する「全国ミニ切手展」を330カ所(前年度282カ所)で開催した。特に4月の「切手趣味週間」(切手趣味週間の切手発行日から1週間)期間はキャンペーンを実施するとともに多局開催の個人・団体を表彰した。

(2) 展覧会来場者促進キャンペーン

キャンペーンの取り組みとして、特典情報を掲載したチケット等の作成・配布、集客文化イベントを実施するとともに、広く情報発信を図った。

①STAMP-SHOW 2024来場者促進キャンペーン

実施期間:2024年3月1日(金)～4月28日(日)

キャンペーンはがき:配布枚数210枚、回収枚数:43枚(回収率20.5%)

②JAPEX2024来場者促進キャンペーン

実施期間:2024年9月1日(日)～11月3日(祝・日)

キャンペーンはがき:配布枚数180枚、回収枚数:24枚(同13.3%)

③STAMP-SHOW2025来場者促進キャンペーン

実施期間:2025年3月1日(金)～4月13日(日)、キャンペーンはがき:配布枚数200枚、回収枚数:35枚(同12.5%)

(3) 切手ワークショップ

①切手ワークショップ「入門コース・作品コース」

会場は切手の博物館(豊島区)とし、最終回の[4月度]はSTAMP-SHOW2025(台東区)で開催した。

[6月度] 内容:切手など郵趣品の集め方、整理の仕方、開催日:6月15日(土)、参加者:11名

[9月度] 内容:マイリーフ作成ガイド、開催日:9月21日(土)、参加者:8名

[11月度] 内容:マイリーフ作成実習、開催日:11月16日(土)、参加者:13名

[1月度] 内容:マイリーフ作成実習、開催日:2025年1月18日(土)、参加者:13名

[2月度] 内容:アルバムリーフ作成、開催日:2025年2月15日(土)、参加者:13名

[4月度] 内容:アルバムリーフの展示のみ実施、開催日:2025年4月12日(土)、参加者:5名

②児童向け切手ワークショップ

開催日:8月25日(日)、会場:椿ホール(豊島区)、内容:切手しおり作り、切手バッジ・マグネット作り、参加者100名。

(4) 月刊誌『郵趣』

郵便切手文化に関する幅広い情報の提供、郵便切手類及び郵便制度に関する文化的知見の普及を図るとともに、当協会の事業活動の報告等を行い、当協会への参加意識を高めるため、月刊誌『郵趣』を監修し、頒布した。

(5) 郵趣入門ガイドブック

郵便切手類の入手・保存・楽しみ方についてわかりやすく解説した、郵趣入門ガイドブックの2024年度更新版を制作した。全国規模の展覧会、地方本部主催の展覧会等において配布するとともに、ホームペ

ージに掲載して普及活動を展開した。

- ①「郵趣スタートガイド～初めて郵趣を楽しむ方に～」
- ②「郵趣リーフ作成ガイド～初めてのトピカル・リーフ作り～」
- ③「日本切手で始めるスタートガイド」
- ④「知って得する切手入手ガイド」
- ⑤「やさしい郵趣用語集」
- ⑥「トピカル郵趣 作品制作ガイド」
- ⑦「テーマティック郵趣 作品制作ガイド」
- ⑧「楽しく切手を集めよう！」

(6) ホームページ、公式SNS

情報公開の重要性に鑑み、切手発行情報、展覧会、出版物及び文化シンポジウム等に関する最新情報をホームページ及び公式SNSに適時掲載し、幅広く社会一般に公開、提供した。また、Web会議「オンライン郵趣」を開催し、リアルとデジタルを連動させたハイブリッド型の普及促進を図った。

(7) 全国郵趣大会

全国各地における郵趣活動の結びつきを図り、課題の共有・活用の推進を図るため、全国郵趣大会を開催した。併せて功労者の顕彰、記念レセプションを開催した。

①全国郵趣大会2024in富山(第42回)

会期:9月28日(土)・29日(日)、会場:ホテルグランテラス富山(富山市)。参加者123名、内容:記念式典、顕彰事業セレモニー、記念講演、分科会、寄贈品オークション。企画運営:中部地方本部、富山支部。

②全国郵趣大会2025in長崎(第43回)[準備作業]

会期:9月27日(土)・28日(日)、会場:ホテルセントヒル長崎(長崎市)、後援:日本郵便(株)九州支社[予定]、企画運営:九州・沖縄地方本部、長崎支部。

(8) 地方本部主催の「切手のつどい」

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、地域市民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」を開催した。

①福山切手のつどい2024春

会期:5月6日(月・祝)、会場:まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、参加者53名(同74名)、主催:中国・四国地方本部、福山支部

②岡山切手のつどい2024

会期:6月23日(日)、会場:岡山国際交流センター(岡山市)、参加者50名(同60名)、主催:中国・四国地方本部、岡山支部

③防府切手のつどい2024夏

会期:7月28日(日)、会場:防府市創業・交流センター[デザインプラザHOFU](山口県防府市)、参加者80名(同53名)、主催:中国・四国地方本部、防府支部

④福山切手のつどい2024夏

会期:8月24日(土)、会場:まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、参加者48名(同52名)、主催:中国・四国地方本部、福山支部

⑤筑後地方切手のつどい2024

会期:8月25日(日)、会場:小郡市生涯学習センター(福岡県小郡市)、参加者35名(同46名)、主催:九州・沖縄地方本部、小郡支部

⑥関西郵趣家のつどい2024(切手だいすき集まれ!!)

会期:11月9日(土)・10日(日)、会場:大阪マーチャングイズ・マートビル[OMM](大阪市)、参加者320

名(同190名)、主催：関西地方本部

⑦防府切手のつどい2025冬

会期：2025年1月26日(日)、会場：防府市創業・交流センター[デザインプラザHOFU] (山口県防府市)、参加者80名(同70名)、主催：中国・四国地方本部、防府支部

⑧北九州切手のつどい2025

会期：2025年2月9日(日)、会場：北九州国際会議場(福岡県北九州市)、参加者50名(同50名)、主催：九州・沖縄地方本部、北九州支部

⑨広島切手のつどい2025

会期：2025年2月22日(土)、会場：広島市南区民文化センター(広島市)、参加者80名(同80名)、主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

2. 展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を発展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催した。また、文化シンポジウム・イベント等を企画・実施してPR効果を高め、集客の増加を図った。

(1) 全国規模の展覧会

①世界切手まつり STAMP-SHOW2024(第48回)

企画展示「能登半島地震復興支援切手展」、「パリ五輪2024『100年前のパリ』」、「宝塚110周年展」の開催、フリースタイル切手展2024、第25回トピカル切手展の作品を公募した。また、令和6年能登半島地震支援の義援金活動を行った。

会期：4月26日(金)～4月28日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、来場者：11,000名(前年度7,600名)。特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)伊藤園、えにし書房(株)、(株)鼓月、(一社)世界押花芸術協会、(株)日本郵趣出版、(株)不二家、町田酒造(株)、協力：フランス郵政(La Poste)、切手の博物館、郵政博物館、日本郵便切手商協同組合。競争出品：(1)フリースタイル切手展2024：27作品(同29作品)、(2)第25回トピカル切手展：12作品39フレーム(同18作品62フレーム)。切手商ブース：19店23.5ブース(同26店33.5ブース)。

②世界切手まつり STAMP-SHOW2025(第49回)[準備作業]

企画展示「昭和100年」、緊急特別展示「大船渡大規模山林火災」「ミャンマー大地震」の準備作業、会期：2025年4月11日(金)～4月13日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)伊藤園、えにし書房(株)、加藤憲G.R.S.(株)、(株)鼓月、(株)日本郵趣出版、(株)不二家、町田酒造(株)、協力：切手の博物館、郵政博物館、日本郵便切手商協同組合。

③第59回全国切手展(略称：JAPEX2024)

企画出品「菊切手発行125周年」、「2025年日韓国交正常化60周年『韓国切手展』」の開催、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティック、ユース、文献、ワンフレーム、オープン、その他の全11クラスの競争作品を公募した。本展覧会において金銀賞以上の賞を受賞した作品には、国際郵趣連盟(FIP)主催の国際切手展への出品資格が付与された。併せて、公式ガイドブック等を発行して、研究発表の成果を広く一般に公開した。

会期：11月1日(金)～11月3日(日・祝)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、入場者：3,300名(前年度3,400名)、後援：外務省、文部科学省、駐日韓国大使館韓国文化院、東京新聞、協賛：日本郵便(株)、(株)伊藤園、加藤憲G.R.S.(株)、(株)鼓月、(株)日本郵趣出版、町田酒造(株)、協力：(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合、日本郵便切手商協同組合。

企画出品：「菊切手発行125周年」11作品42フレーム、「2025年日韓国交正常化60周年『韓国切手展』」8作

品36フレーム、競争出品:87作品265フレーム(前年度105作品333フレーム)。外国郵政ブース:3カ国(チェコ、オランダ、ポルトガル)、切手商ブース:20店26.5ブース(同21店27.5ブース)。

(2) 地方本部主催の展覧会

①STAMP-SHOW in広島2024

会期:5月11日(土)・12日(日)、会場:広島県立産業会館(広島市)、来場者:446名(前年度408名)、企画展示:「孫に伝えたい戦争と平和」他、32作品70フレーム、切手商ブース:7店7ブース(同5店6ブース)、記念講演:「郵便史収集—珍品の探し方、掘り出し方—別仕立を題材に」石川勝己氏、主催:中国・四国地方本部、STAMP-SHOW in広島実行委員会

②STAMP-SHOW in横浜2024(第13回)

会期:5月18日(土)・19日(日)、会場:かながわ県民センター(横浜市)、来場者:332名(同311名)、主催:関東地方本部、横浜支部、湘南郵趣の会、鎌倉郵趣会、後援:日本郵便(株)南関東支社、鶴屋町郵便局、神奈川新聞社。

③STAMP-SHOW inくだまつ2024

会期:6月15日(土)・16日(日)、会場:スターピアくだまつ[下松市文化健康センター](山口県下松市)、来場者:100名(同120名)、主催:中国・四国地方本部、周南支部

④関西STAMP-SHOW2024

会期:7月27日(土)・28日(日)、会場:大阪マーチャンダイズ・マートビル[OMM](大阪市)、来場者:470名(同380名)、企画テーマ:「博覧会」、切手商ブース:8店8ブース(同8店8ブース)、主催:関西地方本部

⑤彩PEX2024

会期:9月14日(土)・15日(日)、会場:ウェスタ川越(埼玉県川越市)、来場者:150名(同150名)、主催:関東地方本部、川越支部

⑥中部STAMP-SHOW in富山2024

会期:9月28日(土)・29日(日)、会場:ホテルグランテラス富山(富山県富山市)、来場者:123名(同50名)、主催:中部地方本部、富山支部

⑦STAMP-SHOW inかごしま2024

会期:10月5日(土)・6日(日)、会場:サンプラザ天文館(鹿児島市)、来場者:130名(同150名)、主催:九州・沖縄地方本部、鹿児島支部、後援:日本郵便(株)九州支社、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、KKB鹿児島放送、KYT鹿児島読売テレビ、エフエム鹿児島、鹿児島シティエフエム。

⑧STAMP-SHOW inはかた2024(併設:第42回全九州ジュニア切手展)

会期:10月19日(土)・20日(日)、会場:TKPカンファレンスシティ博多(福岡市)、来場者:160名(同170名)、切手商ブース:6店6ブース(同6店6ブース)、主催:九州・沖縄地方本部、福岡支部、後援:日本郵便(株)九州支社、福岡市教育委員会、RKB毎日放送、九州朝日放送、FBS福岡放送局、TVQ九州放送、テレビ西日本、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、西日本新聞社。主催:九州・沖縄地方本部、福岡支部

⑨STAMP-SHOW in高松2024

会期:11月16日(土)・17日(日)、会場:アイパル香川(香川県高松市)、来場者:70名(同42名)、主催:中国・四国地方本部、高松支部

⑩大阪春の切手展2025in京セラドーム大阪

会期:2025年3月8日(土)・9日(日)、会場:京セラドーム大阪「スカイホール」(大阪市)、来場者:320名(同340名)、企画テーマ:「鉄道」11作品24フレーム、切手商ブース:6店6ブース(同5店5ブース)、主催:

関西地方本部

(3) 展覧会への出品促進

- ①フリースタイル切手展、トピカル切手展の応募ガイド・PDF入力フォームを作成し、出品希望者への配布及びホームページにおいて公開した。
- ②「JAPEX2024ルールブック」(JAPEX2024開催概要、JAPEX2024特別規則、JAPEX一般規則、JAPEX審査基準、JAPEX出品に関するQ&A等)を作成し、出品希望者への配布及びホームページにおいて公開した。
- ③新規出品者の育成及び出品コンサルティングの実施
対面及び通信添削により作品コンサルティングを実施した。JAPEX新規出品者:5名(前年度12名)、出品コンサルティング利用者:8名(同8名)。
- ④クリティーク(審査員と出品者との対話)の実施
実施日:11月3日(日・祝)、会場:第59回全国切手展JAPEX2024[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]、参加者:13名(同23名)。

(4) 公認審査員制度と審査員の育成

コンクール形式の展覧会において適正な判定と円滑な運営を行うため、公認審査員制度を活用して国内審査員の育成を図った。

3. 出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、郵便切手類に関するデータ並びに郵便制度に関する研究を基にして、各種出版物の発行及び監修を行った。

(1) 定期刊行物

- ①週刊速報紙『郵趣ウィークリー』週刊/50回発行
- ②郵趣専門誌『郵趣研究(The Philatelic Studies)』隔月刊/6回発行
- ③WEB版『世界新切手ニュース』月刊/12回配信
- ④WEB版『郵趣ウィークリー』週刊/50回配信
- ⑤WEB版『郵趣研究』隔月刊/6回配信

(2) 切手カタログの監修

- ①『さくら日本切手カタログ2025』(4月20日刊行)
- ②『ビジュアル日専JSCA 記念・特殊切手編1952-1966』(10月20日刊行)

4. 学術調査研究事業

郵便切手類に関する研究成果を広く社会一般に還元するため、活動事例紹介、研究発表会<ミニペックス>、郵趣カンファレンス、文化シンポジウム等を開催した。

(1) 研究会

専門分野別に研究会を設置して学術調査研究の充実・発展を図るとともに、未分野の研究会発足を促進するため、主として切手の博物館(豊島区)において月例会を延べ130回開催した。また、オンライン月例会を4回開催し、全国の専門収集家との交流、研究成果の共有に努めた。

(2) 研究発表会(ミニペックス)

研究会による学術調査研究成果の発表会を「ミニペックス」と称して、切手の博物館(豊島区)において広く一般に公開した。研究発表会では、研究作品の背景と郵趣の本質を分かりやすく説明する作品解説等を実施した。

①第37回昆虫切手展

会期:6月1日(土)~6月2日(日)、来場者:160名(同170名)、研究発表:昆虫切手研究会

②イギリス切手研究会切手展2024

会期：6月8日(土)・9日(日)、来場者：160名(前年度150名)、研究発表：イギリス切手研究会

③第13回世界の植物切手展

会期：6月28日(金)～6月30日(日)、来場者：230名(同250名)、研究発表：植物切手研究会

④アメリカ切手展2024 america'24

会期：7月5日(金)～7月7日(日)、来場者：130名(同100名)、研究発表：アメリカ郵趣研究会

⑤JPS航空郵趣研究会創立30周年記念展 AEROPEX2024

会期：9月28日(土)・29日(日)、来場者：250名(前年度300名)、研究発表：航空郵趣研究会

⑥ブルックナー生誕200年記念世界の音楽切手展

会期：10月5日(土)・6日(日)、来場者：270名(同200名)、研究発表：音楽切手研究会

⑦日本の高速鉄道60年記念切手展 Railpex2024

会期：10月26日(土)・27日(日)、来場者：90名、研究発表：鉄道郵趣研究会

⑧第21回絵画切手展

会期：11月9日(土)・11月10日(日)、来場者：210名(同200名)、研究発表：絵画切手研究会

⑨第21回震災切手と震災郵趣展

会期：11月22日(金)～11月24日(日)、来場者：140名(同160名)、研究発表：震災郵趣研究会

⑩第22回ドイツ切手展 Germania2025

会期：2025年1月25日(土)・1月26日(日)、来場者：180名(同210名)、研究発表：ドイツ切手研究会

⑪第9回関東郵趣サロン 楽しい切手展

会期：2025年1月31日(金)～2月2日(日)、来場者：220名(同190名)、研究発表：関東郵趣サロン研究会

⑫第16回テーマティック研究会切手展2025

会期：2025年3月1日(土)・2日(日)、来場者：180名(同190名)、研究発表：テーマティック研究会

⑬パソコン郵趣切手展2025

会期：2025年3月8日(土)・9日(日)、来場者：150名(同200名)、研究発表：パソコン郵趣研究会

⑭菊・田沢MINIPEX2025

会期：2025年3月14日(金)～3月16日(日)、来場者：140名(同160名)、研究発表：菊・田沢切手研究会

⑮第17回聴覚障害者切手研究会切手展

会期：2025年3月29日(土)～3月30日(日)、来場者：150名(同180名)、研究発表：聴覚障害者切手研究会

(3) 郵趣カンファレンス

各専門分野の先進学術事例の調査研究を進めるとともに、この知見を相互に有効活用するため郵趣カンファレンスを開催し、その学術事例を出版物等を活用して発表・公開した。

①昆虫切手ミニペックス作品解説

会期：6月2日(日)、スピーカー：磯田清氏、澤口尚子氏、田中克美氏(昆虫切手研究会)、聴講者12名、会場：切手の博物館(豊島区)。

②アメリカ切手ミニペックス作品解説

会期：7月6日(土)、7日(日)、スピーカー：小林伸佳氏、太田隆啓氏(アメリカ郵趣研究会)、聴講者13名、会場：切手の博物館(豊島区)。

③国際切手展の楽しみ方

会期：11月2日(日)、スピーカー：斎藤環氏(公認審査員)、聴講者10名、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。

④絵画切手を楽しむ

会期：11月10日(日)、スピーカー：江村清氏(絵画切手研究会)、聴講者5名、会場：切手の博物館(豊島

区)。

⑤大阪万博と切手・郵便

会期：2025年3月2日(日)、スピーカー:内藤陽介氏(テーマティック研究会)、聴講者25名、会場:切手の博物館(豊島区)。

⑥菊・田沢切手ミニペックス作品解説

会期：2025年3月15日(土)、スピーカー:山田祐司氏、山口充氏(菊・田沢切手研究会)、聴講者15名、会場:切手の博物館(豊島区)。

(4) 文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、トークショー等の形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人に参加できる機会を創出した。

①会期:4月26日(金)~4月28日(日)、会場:STAMP-SHOW2024/東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。

- A. トークショー「宝塚歌劇110周年」、ゲスト:星乃あんり氏、春妃うらら氏(元宝塚歌劇団)、聴講者80名。
- B. 研究発表「1920年代のパリの昆虫関連の話題」、講師:澤口尚子氏(昆虫切手研究会)、聴講者30名。
- C. 講演会「セント・ジョージの龍退治:ソブリン金貨と切手」、講師:内藤陽介氏、聴講者35名。
- D. 講演会「切手もの知り図鑑 一番切手50のエピソード」、講師:内藤陽介氏、聴講者50名。
- E. トークショー「ヨーロッパ押印漫遊録」、講師:高名康文氏(成城大学教授)、聴講者35名。
- F. トークショー「震災復興とデザインのちから」、講師:玉木明氏(日本郵便(株)切手デザイナー)、池澤克就氏、聴講者80名。

②会期:5月11日(土)、会場:STAMP-SHOW2024in広島/県立広島産業会館(広島市)。

- A. 講演会「郵便史収集一珍品の探し方、掘り出し方一別仕立を題材に」、講師:石川勝己氏(日本郵趣協会公認審査員)、聴講者34名。

③会期:9月28日(土)、会場:全国郵趣大会2024in富山/ホテルグランテラス富山(富山市)。

- A. 講演会「イギリス郵政悲哀物語」、講師:池原郁夫氏、聴講者80名。
- B. 講演会「エリザベス女王切手の誕生」、講師:山田廉一氏、聴講者80名。
- C. 講演会「UPU小判の目打を中心とした製造分類概要」、講師:山田廉一氏、聴講者80名。

④会期:11月1日(金)~11月3日(日・祝)、会場:第59回全国切手展JAPEX2024/東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。

- A. 研究発表「菊切手発行125周年『菊切手時代の切手とはがきの使用例の紹介・解説』」、講師:中世古誠氏(菊・田沢切手研究会)、聴講者35名。
- B. 講演会「菊切手デザインの起源について~菊切手とドイツ帝国切手との関連性~」、講師:田仲明子氏(郵政博物館学芸員)、聴講者40名。
- C. 講演会「ビジュアル日専『記念・特殊切手編1952-1966』採録の製造面」、講師:横山裕三、永吉秀夫氏(記念・特殊切手研究会)、聴講者35名。
- D. 講演会「《オークション》【あ・ら・か・る・と】」、講師:鯛道治氏、聴講者70名。
- E. トークショー「普通切手のできるまで」、ゲスト:玉木明氏(日本郵便(株)切手デザイナー)、聴講者65名。

⑤会期:12月7日(土)、会場:切手の博物館のクリスマス/切手の博物館(豊島区)。

- A. トークショー「冬のグリーティング切手」、ゲスト:貝淵純子氏(日本郵便(株)切手デザイナー)、聴講者30名。

5. 国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を推進した。

(1) 国際切手展における国際文化交流

国際切手展の視察、国際郵趣セミナー等の参加を通じて、海外諸国・地域の郵趣家とのネットワークの形成・強化を図るとともに、国際文化交流を契機とした新たな郵便切手文化の研究を推進した。

①国際切手展「EFIRO2024」の視察、文献出品

「ビジュアル日専Vol.1～Vol.3」を出品し金賞を受賞した。会期：4月16日(火)～4月19日(金)、会場：世界貿易センター(台湾・台北)

②アジア国際切手展「INDONESIA2024」の視察

会期：7月3日(水)～7月7日(日)、会場：Pos Bloc Jakarta(インドネシア・ジャカルタ)

(2) 各国外交機関及び各国郵政機関との協働による国際文化交流

海外郵政機関の協力を得て、文化イベント等を企画・実施してPR効果を高め、国際文化交流の活性化に努めた。

①会期：4月26日(金)～4月28日(日)、会場：STAMP-SHOW2024／東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。フランス、ハンガリー、オランダの各郵政より記念消印のデザイン提供。

②会期：11月1日(金)～11月3日(日・祝)、会場：第59回全国切手展JAPEX2024／東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。チェコ、オランダ、ポルトガルの各郵政より記念消印のデザイン提供。

6. 流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施した。

(1) 流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止するため、情報の蓄積・注意喚起を進めた。また郵便切手文化の保全と健全なる市場の形成を図り、広く利用者の便宜性と拡大に努めた。

(2) 展示即売会

郵便切手類の需要開拓と安定供給を図る展示即売会を通して、多様な市民が公平に郵便切手類を再活用できる基盤と公共的インフラを支援した。全国切手展・地方本部主催イベントなどと連携し、郵趣品の公正な流通と、集客を含む市場の活性化、流通網の拡充を図った。

①4月26日(金)～4月28日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

②7月13日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

③9月28日(土)、会場：ホテルグランテラス富山(富山市)

④11月1日(金)～11月3日(日・祝)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

⑤2025年2月22日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

7. 顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者(個人及び団体)を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図った。

(1) 選考委員会

各授賞要項に基づき各選考委員会を設置するとともに、選考基準に基づき授賞者を選考した。

①第45回中島健蔵・水原明窗記念賞

中島健蔵・水原明窗記念賞選考委員会(委員長:山田廉一)を設置し、4月27日(土)に選考委員会を開催、

受賞者に岩崎善太氏、鯛道治氏を決定した。

②国際大賞（トレーシー・ウッドワード記念賞）

顕彰選考委員会(委員長:山田廉一)を設置し、6月1日(土)に選考委員会を開催、Lois M.Evans-Violini氏に決定した。

③第44回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)

同上の選考委員会を設置し、次の通り決定した。

A. 個人部門:鎌倉達敏氏、小藤田紘氏、堀中裕史氏、槇原晃二氏、橘康成氏(追贈)の5名

B. 団体部門:ドイツ切手研究会

④第44回郵趣文献賞

同上の選考委員会を設置し、受賞文献に次の文献を決定した。

「切手で読み解く 地図切手の世界 小さな地図の博物館」(西海隆夫著)

⑤第41回小倉謙賞

選考委員会(委員長:石川勝己)を設置し、10月12日(土)に選考委員会を開催し、受賞者に羽賀正雄「木材について語る—その生産・加工・利用と持続的発展」を決定した。

⑥第39回住野正顕賞

選考委員会(委員長:石川勝己)を設置し、10月12日(土)に選考委員会を開催し、受賞者に藤本博嗣氏「Postal History of Chinese Imperial Post 1897-1912」を決定した。

⑦第4回手嶋康賞

選考委員会(委員長:石川勝己)を設置し、10月12日(土)に選考委員会を開催し、受賞者に虎頭雄彦氏「通信省明治三十七八年戦役記念絵葉書」を決定した。

⑧登録支部・団体50周年特別表彰

5月25日(土)に事業執行会議(議長:山田廉一)を開催し、2024年度の表彰に八尾支部、相模原支部、周南支部、高槻支部、箕面支部の5団体を決定した。

(2) 授賞式

表彰は授賞式をもって行うとともに、選考結果は『郵趣』及びホームページにおいて公開した。

①第45回中島健蔵・水原明窗記念賞は、第59回全国切手展JAPEX2024において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。あわせて受賞記念講演及び作品展示・作品解説を実施した。

②第44回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)及び第44回郵趣文献賞は、全国郵趣大会2024in富山において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。

③第41回小倉謙賞、第39回住野正顕賞並びに第4回手嶋康賞は、第59回全国切手展JAPEX2024において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。

8. 社会貢献・地域支援事業

パートナー・サポート企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行った。また、登録支部・団体及び公益的活動への支援を行い、ボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組んだ。

(1) 「手紙を書こう！プロジェクト2024」

①ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2024(第13回)

発表会：8月25日(日)、会場：目白・椿ホール(豊島区)、来場者500名。後援：文部科学省、(公社)日本PTA全国協議会、全国市町村教育委員会連合会、全国連合小学校長会、日本私立小学校連合会、豊島区教育委員会、読売KODOMO新聞社、日本教育新聞社、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)デサント、リソー教育グループ。応募作品：切手部門：25作品(2023年度24作品)、風景印部門：356作品(同456作品)、優れた作品に文部科学大臣賞及び特別賞(5協賛企業・団体)を授与した。

②タイムカプセル郵便

保管及び差出業務を継続した。

※日本郵政(株)の登録商標使用許諾事業

③『Letter Park』、切手デザイナーとの連携

A. 『Letter Park』での周知連携

毎月のイベント日程の紹介に加え、4月号、5月号、7月号、8月号、9月号、10月号、12月号には特別枠で周知を行った。

B. 切手デザイナーとの連携

(a)トークショー&サイン会

ア. テーマ:「震災復興とデザインのちから」、ゲスト:玉木明氏(切手デザイナー)、会期:4月28日(日)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。

イ. テーマ:「普通切手のできるまで」、ゲスト:玉木明氏(切手デザイナー)、会期:11月2日(土)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。

ウ. テーマ:「冬のグリーティング切手」、ゲスト: 貝淵純子氏(切手デザイナー)、会期:12月7日(土)、会場:切手の博物館(豊島区)。

(b)記念小型印及び各種制作物のデザイン制作

ア. 記念小型印「母の日のおたより」のデザイン

使用期間:5月7日(火)、開設場所:切手の博物館(豊島区)

イ. 記念小型印(3種)「切手の博物館のクリスマス」のデザイン、クリスマス・ポストカードのデザイン制作

使用期間:12月4日(水)、12月18日(水)、12月22日(日)、開設場所:切手の博物館(豊島区)

(c)卓上切手カレンダー2025

「私の好きな凹版切手」と題して、切手選定、デザイン協力。

C. 展覧会の各賞選考

(a)フリースタイル切手展2024選考委員

選考委員として玉木明氏(切手デザイナー)を招請、選考日:2023年3月21日(水)、選考会場:切手の博物館(豊島区)。

(b)ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2024審査員

審査員として丸山智氏(切手デザイナー)を招請、審査日:8月8日(木)、審査会場:切手の博物館(豊島区)

D. 年賀はがき面白情報

年賀はがき、年賀状の差出に関心をもってもらうため、2025年用年賀はがきに関する面白情報の提供を受け、JAPEX2024(台東区)及び切手の博物館(豊島区)において展示・公開した。

④「切手の博物館」手紙プロジェクトとの連携

A. Otegamiフリマ

(a). Otegamiフリマ2024 SUMMERコレクション 会期:5月17日(金)・18日(土)、来場者800名。

(b). Otegamiフリマ2024 AUTUMNコレクション 会期:9月20日(金)・21日(土)、来場者800名。

(c). Otegamiフリマ2024 WINTERコレクション 会期:11月15日(金)・16日(土)、来場者800名。

(d). Otegamiフリマ2025 SPRINGコレクション 会期:2025年2月14日(金)・15日(土)、来場者800名。

会場:切手の博物館(豊島区)、共催:(一財)水原フィラテリー財団、協賛:日本郵便(株)、リソー教育グループ。

B. お手紙イベント「母の日」

会期:5月7日(火)、会場:切手の博物館(豊島区)、共催:(一財)水原フィラテリー財団。

C. ぼすくまにおたよりを送ろう!

会期:8月25日(日)、会場:目白・椿ホール(豊島区)

D. クリスマスポストカードdeお手紙

会期:12月7日(土)~12月25日(水)、会場:切手の博物館(豊島区)、参加者1,000名。共催:(一財)水原フィラテリー財団、協賛:日本郵便(株)、リソー教育グループ。

⑤使用済み切手、書き損じはがきの募集

募集期間:2024年4月1日(月)~2025年3月31日(月)、協賛件数:2,088件(前年度1,912件)。

(2) 登録支部・団体への支援

①研究発表の支援及び広報協力

地方本部及び登録支部・団体が主催するイベントに、講師の派遣を実施するとともに広報に協力した。

②展覧会及び切手教室への助成

登録支部・団体が開催した展覧会及び切手教室への助成を実施した。

(3) ボランティアの醸成

①郵趣のための押印講習会(技能認定制度)

押印講習会を9回開催するとともに、押印に関する専門的な知識を技術が優秀と認められた方への「押印認定書」(1級~3級)の授与を新たに5名決定した。押印ボランティア登録者:27名、押印認定者:累計42名。

②展覧会運営ボランティアの公募

A. 4月26日(金)~28日(日)開催の世界切手まつりSTAMP-SHOW2024に一般ボランティア15名の応募があり、延べ25名が運営ボランティアとして参加した。

B. 11月1日(金)~11月3日(日・祝)開催の第59回全国切手展JAPEX2024に一般ボランティア16名の応募があり、延べ33名が運営ボランティアとして参加した。

(4) 公益活動への支援

①全日本切手展2024(第74回)

全日本切手展実行委員会主催の「全日本切手展2024」に後援、特別賞を授与した。会期:7月13日(土)~7月15日(月・祝)、会場:すみだ産業会館(墨田区)。

②STAMPEX JAPAM2025

スタンペックスジャパン実行委員会主催の「STAMPEX JAPAM2025」に後援、審査員の派遣を行った。会期:2025年3月29日(土)~3月31日(月)、会場:郵政博物館(墨田区)。

③第28回目白ロードレース

目白ロードレース実行委員会主催の「第28回目白ロードレース」に協賛した。会期:2025年3月9日(日)、会場:学習院キャンパス周辺。

9. 公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、幅広く多くの方々から寄付を募った。益金は広く社会一般に還元する事業のために充当した。

(1) 財政安定化寄附金(一般寄附金)

募集期間:2024年4月1日(月)~2025年3月31日(月)、協賛者:7名、48,778円(同9名、80,200円)。

(2) STAMP-SHOW2024寄附金(特別寄附金)

募集期間:1月4日(木)~5月31日(金)、特別寄附金:27口(1口3万円)、一般寄附金:322口(1口4,000円)、協賛者:278名、2,251千円(同293名、2,227千円)。

(3) JAPEX2024寄附金(特別寄附金)

募集期間:7月2日(火)~11月3日(日・祝)、特別寄附金:34口(1口3万円)、一般寄附金:414口(1口4,000円)、協賛者:367名、2,719千円(同387名、2,948千円)。

(4) STAMP-SHOW2025寄附金 (特別寄附金)

募集期間:1月7日(水)～5月31日(土)、特別寄附金:21口(1口3万円)、一般寄附金:322口(1口4,000円)、協賛者:284名、1,921千円(同293名、2,170千円)。

(5) 特別寄附金の表彰制度 (特別表彰、マルチプル表彰、メジャードナー表彰)

STAMP-SHOW及びJAPEXの各寄附金において「特別寄附金」に多額の支援をいただいた方に対して、「世界切手まつり STAMP-SHOW2024」で特別表彰2名、マルチプル表彰2名、「第59回全国切手展 JAPEX2024」で特別表彰2名、マルチプル表彰2名を表彰した。

Ⅱ 管理部門

1. 会員事業

情報提供サービスの充実と会員のサポートが図れるような施策を実施し、そのメリットを高めていくことにより、会員の維持・拡大を図った。

(1) 会員の維持・拡大

当協会の事業を紹介した入会案内リーフレットを制作して、新規会員獲得に向けたキャンペーン施策を強化した。また退会防止に向けて、魅力ある会員サービスを積極的に提供した。

①春の入会キャンペーン&WEB会員入会キャンペーン

実施期間:4月1日(土)~6月30日(金)、入会者:17名(うちSTAMP-SHOW2024会場3名)。

②秋の入会キャンペーン&WEB会員入会キャンペーン

実施期間:10月1日(火)~12月24日(火)、入会者:13名(うちJAPEX2024会場1名)。

③ご移籍のお願いキャンペーン(普通会員から正会員、正会員から維持会員への移籍のお願い)

登録者:6名(前年7名)。

④『正会員会報』月刊/12回発行

(2) 会員情報管理システムの整備

会員情報を組織的に適正に管理してデータの円滑な利活用を行うため、会員情報管理システムを整備するとともに、事務の簡素化・効率化及び情報提供サービスの高度化を推進した。

2. 交流事業

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、郵便切手文化を国民の資源として共有・活用できる基盤作りを強化した。

(1) 新春交歓会

①東京・新春交歓会2025

会期:2025年1月11日(土)、会場:YRイベントホール(豊島区)、参加者54名(2023年度40名)、主催:関東地方本部。

②大阪・新春交歓会2025

会期:2025年1月13日(月・祝)、会場:大阪キャッスルホテル(大阪市)、参加者32名(同30名)、主催:関西地方本部。

(2) 地方本部主催の郵趣大会

①東北郵趣大会2024in盛岡(第31回)

会期:6月8日(土)・9日(日)、会場:ホテルニューカーリーナ(盛岡市)、参加者34名(同26名)、主催:北海道・東北地方本部。

②関東郵趣大会2024in湘南藤沢(第32回)

会期:6月9日(日)、会場:藤沢市民会館(藤沢市)、参加者87名(同61名)、主催:関東地方本部。

(3) コミュニティ通貨「フィラ」

お金では表せない「善意」を交換するコミュニティ通貨「フィラ」の普及拡大と流通促進により、ボランティア活動の活性化を図るとともに、郵便切手文化サービスの循環によって生き生きとした心豊かな社会の実現を目指した。発行数:39,100枚、流通数:690枚(流通率1.8%)。

属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2025年6月
公益財団法人 日本郵趣協会